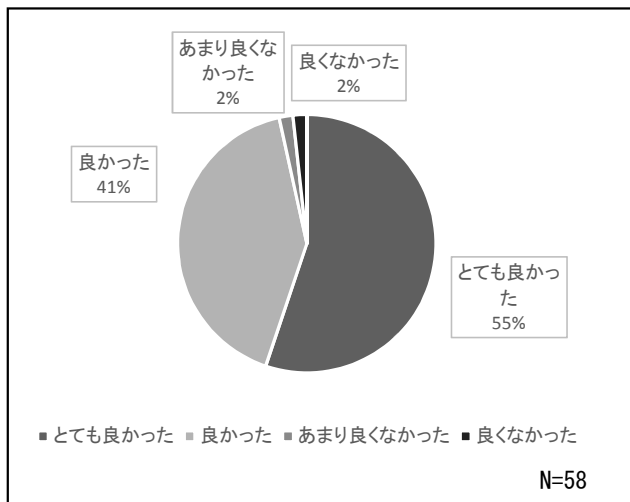


【企業・団体・NPO等】

平成29年度「情報交換会」に関するアンケート集計結果

■期 日：平成29年8月4日（金） ■会 場：ピアザ淡海
■対 象：ブース出店企業・団体・NPO等 [58名より回答]

Q 1 今回の「情報交換会」はいかがでしたか。



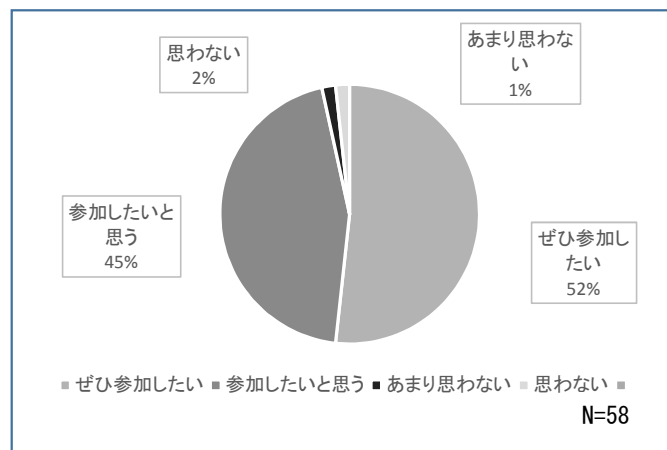
理由等自由記述欄より

- ・ 学校がかかえておられる課題や体験メニューに対する要望など聞かせていただけて参考になった。
- ・ グループ討議でワールドカフェ方式はいろいろな意見が聞けてよい方法だと思う。
- ・ 他社の実状も垣間見ることができた。
- ・ 学校の教育指導要領の中でどう支援できるかを改めて感じることもできた。
- ・ 一つのグループで移動なしにじっくり話してもよかった。
- ・ 出展団体を少なくしてゆっくりお話できる場が欲しい。

Q 2 来年度の「情報交換会」の持ち方について希望等ございましたら、お聞かせください。

- ・ 今回のやり方がよい。
- ・ メンバー交換で別な意見、アイデアが聞けるのはよい。
- ・ ワールドカフェ方式は初めてで、とまどったが、ラウンド4で多くの意見が集まり、話し合いが活性化したのでよかった。

Q 3 今回のような機会があれば、また、参加したいと思いますか。



理由等自由記述欄より

- ・ 学校支援メニューは私たち企業としても力を入れているので発展させていくために今後の参考のために教員の方の話を聞きたい。
- ・ 課題と対策が見えてきて継続してやっていかなければならないことが明確になってきた。
- ・ 今回の方法がいいと思う。最後の発表もその問題を考える一つの原案になった。
- ・ 企業と学校・地域の連携がそれぞれの発展と子どもたちの将来につながっていくと感じるからぜひ参加したい。

【しが学校支援センターより】

支援者の、「しが学校支援メニューフェア」に対する満足度は非常に高い。一方で、教員の「しが学校支援メニューフェア」に対する満足度も非常に高かった。「学校と地域を結ぶコーディネート担当者」等の多くの教員がこれまでの研修を通して、支援者の方々と連携を図ることの必要性や効果について学び、興味をもって意見交換できたことが、満足度につながったと考える。学校現場において「学校支援メニュー」が活用されていないところもあり、学校側の地域との連携する窓口となる学校と地域を結ぶコーディネート担当者等の研修として「しが学校支援メニューフェア」を実施し、広くその効果などを周知するには大変よい機会となっている。

本年度は、学校と地域を結ぶコーディネート担当者等新任研修受講者以外の教員も対象として希望する教員も参加した。より多くの教員に参加いただくための工夫も今後必要である。

ブースの出展時間については、もう少しじっくり話すために長くしたいという意見と、丁度よかったという両方の意見があった。

情報交換会において、本年度はワールドカフェ方式で大会議室でグループワークを行った。はじめての方式ではじめはとまどわれる様子もあったが、多くの教員と話す機会が増えることで、教員のニーズを把握し、今後の支援のあり方について考えるきっかけとなり、小グループでの話し合いは好評であった。